

A hand-drawn sketch of a computer mouse on a desk with pencils and other papers. The sketch is in pencil and shows the outline of the mouse with some shading. There are several pencils scattered around the desk, and other papers with sketches are visible in the background. The overall scene is a close-up of a person's hands drawing on a piece of paper.

logicool

カーボンインパクトの削減を目指す

ロジクールのスステナビリティへの取り組み
(原材料調達からリサイクルまで)

目次

より良い未来を目指して	4
サステナブルデザイン	6
最大限に効果を発揮する箇所の特定	8
調達と製造	9
Next Life Plasticsを使用する理由	10
低炭素アルミニウムを使用する理由	11
輸送と保管	12
FSC認証パッケージを使用する理由	13
お客様による使用	14
当社製品にカーボンラベルを付ける理由	16
製品の廃棄	17
製品の寿命を延ばす方法	18
ロジクールが考える循環性	19
製品紹介	20
Sight	20
MX Brio 705 for Business	21
Zone Wireless 2	22
Wave Keys for Business	23





“

「ロジクールの企業規模は強みだと考えています。当社の規模は機敏かつ迅速に行動を起こせるほど小さくもあり、他の企業パートナーにも影響を及ぼせる十分な影響力を有した大きさでもあるのです。サステナブルデザインを優先することで、見過ごされてきた環境への影響の要因を素早く見つけることができます。」

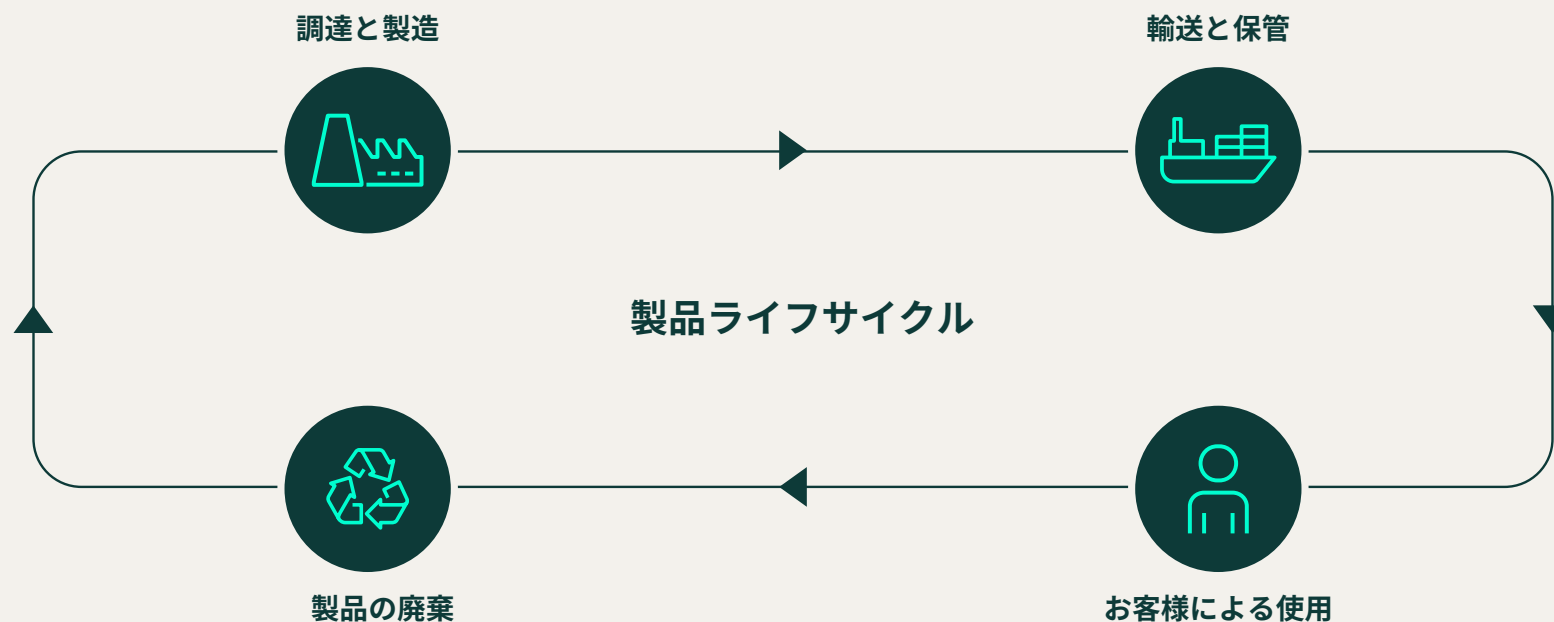
- Hanneke Faber、ロジクールCEO

より良い未来を目指して

私たちの地球と社会のためにより良い未来を創るためには、大きな課題を解決するための様々な取り組みが必要です。そして、IT部門はこの分野において重要な役割を担っています。

当社は、お客様のようなIT企業へのテクノロジープロバイダーとして、環境にプラスの影響をもたらす最も効果的な手段は、当社製品のサステナビリティを絶え間なく改善することであると認識しています。

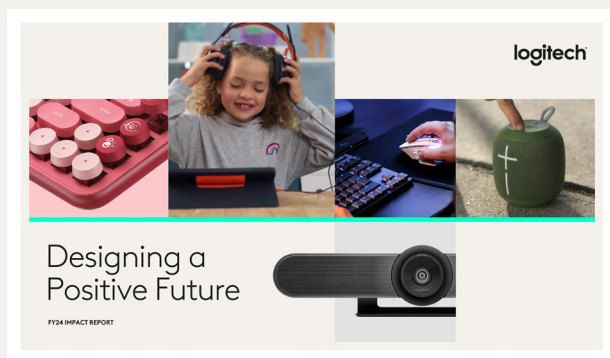
その目標達成に向けた第一歩は、自社のカーボンフットプリントを測定し、それを正確に把握することです。カーボンフットプリントを削減するには、自社のカーボンインパクトを把握して初めて可能になるためです。この目標を有意義な形で達成するために、当社では調達と製造から、輸送と保管、お客様による使用、そして製品の廃棄に至るまで、製品ライフサイクルのあらゆる段階で検証を行っています。そして、製品ごとに、毎年、各段階での削減の進捗状況を測定し、追跡しています。



また、当社が自らの説明責任を果たすことが極めて重要であると認識していることから、社内外に対してカーボンフットプリントを公表しています。この目標を達成するためのひとつの方法として、当社ではカーボンラベルを製品に付けています。これによってお客様は、そのカーボンフットプリントの数値を、自社のサステナビリティへの取り組みの中で反映させることができます。

また、製品のライフサイクル全体における「サステナブルデザイン（DfS）」に向けた当社の取り組みをまとめた、年次インパクトレポートや本書のような情報を公開することで、説明責任を果たしています。

こうした情報が、テクノロジーへの投資において、より多くの情報に基づいた意思決定の一助になれば幸いです。詳細については、当社までお問い合わせいただくか、最新の[インパクトレポート](#)をご覧ください。



サステナブルデザイン： 始まりは製品の構想と実現への取り組みから

ロジクールは設計主導の企業として、環境への影響を最小限に抑える最大の機会が、製品に関する重要な意思決定が行われる設計プロセスの初期段階にあると認識しています。当社では、製品開

発プロセスの初期段階でサステナビリティ目標を設定し、それに取り組みます。また調査研究から商品化に至るまでの重要なマイルストーン（ゲート）ごとに削減の進捗状況を確認しています。

カーボンインパクトを削減する機会が減少

ゲート0

調査研究



ゲート1

コンセプト策定



ゲート2

製品開発



ゲート3

商品化



サステナブルデザインの特徴

DfSの原則を製品開発部門に徹底させることで、お客様やコミュニティ全体に利益をもたらすDfSの特徴が目に見える形で実現することがよくあります。これらの特徴は、DfSにおけるサステナビリティに関する幅広い理念と姿勢のほんの一部にすぎず、当社はこれを社内全体に浸透させようと取り組んでいます。



クリーンな製造

再生可能エネルギーを購入し、行動規範に従って操業する工場による製造で、人々と地球への悪影響を回避し、資源や廃棄物に対して責任のある管理を実現



再生ファブリック

最新の製品設計では、可能な限り再生ファブリックを使用



再生プラスチック

寿命を迎えた古い家電製品のプラスチックを再生したポストコンシューマーリサイクル（PCR）プラスチックを使用して製造

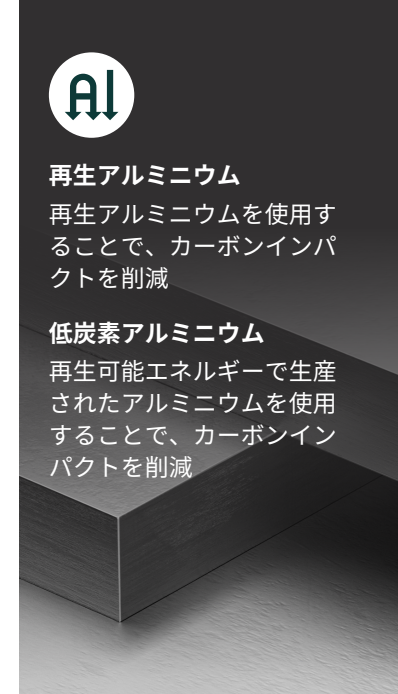


再生アルミニウム

再生アルミニウムを使用することで、カーボンインパクトを削減

低炭素アルミニウム

再生可能エネルギーで生産されたアルミニウムを使用することで、カーボンインパクトを削減



環境に優しいパッケージ

使い捨てプラスチックの使用を避け、リサイクル素材やリサイクル可能な素材を使用し、紙においては責任ある調達を実施



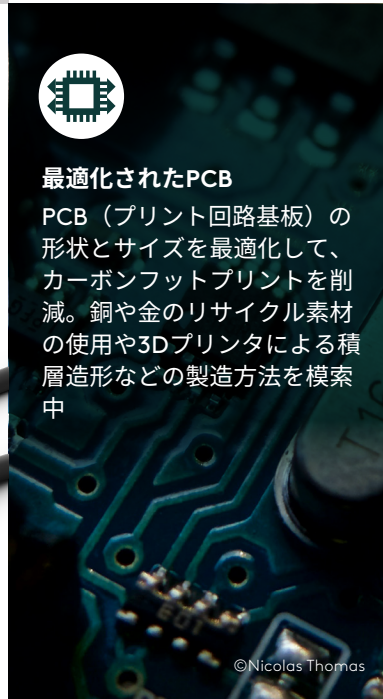
PVC不使用のケーブル

PVC（ポリ塩化ビニル）を使用したケーブルを廃止し、より良い素材に移行



最適化されたPCB

PCB（プリント回路基板）の形状とサイズを最適化して、カーボンフットプリントを削減。銅や金のリサイクル素材の使用や3Dプリンタによる積層造形などの製造方法を模索中



優れたバッテリー効率

バッテリー消費を抑え、製品の使用を最適化するスマートな機能を搭載

最大限に効果を発揮する箇所の特定

ロジクールでは、サステナビリティへの取り組みにおいて最大限に効果をもたらす箇所に重点的に取り組んでいます。当社ではスコープ1と2の温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。これは当社事業活動によるカーボンインパクトを指しています。しかし、これらの温室効果ガス（GHG）排出量は、当社全体におけるカーボンフットプリントの1%未満であることがわかっています。

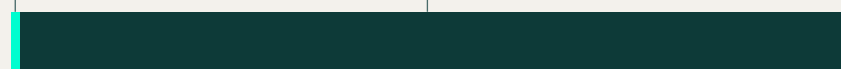
当社全体におけるカーボンフットプリントの99%以上は、スコープ3のGHG排出量で占められています。これは、原材料調達、サプライチェーンの製造、流通、お客様による使用、製品の廃棄処理、付随する活動など、企業のバリューチェーン全体におけるカーボンインパクトを数値化したものです。当社の目標は、2030年までにスコープ3の排出量を半減させることです（SBTiが検証した目標を使用）。

この目標を達成するためには、調達から製造、製品の廃棄に至るまで、製品ライフサイクルのあらゆる段階においてカーボンインパクトを削減する必要があることは認識しています。以下のページでは、各段階における当社の取り組みと成果の一部を詳しく説明します。

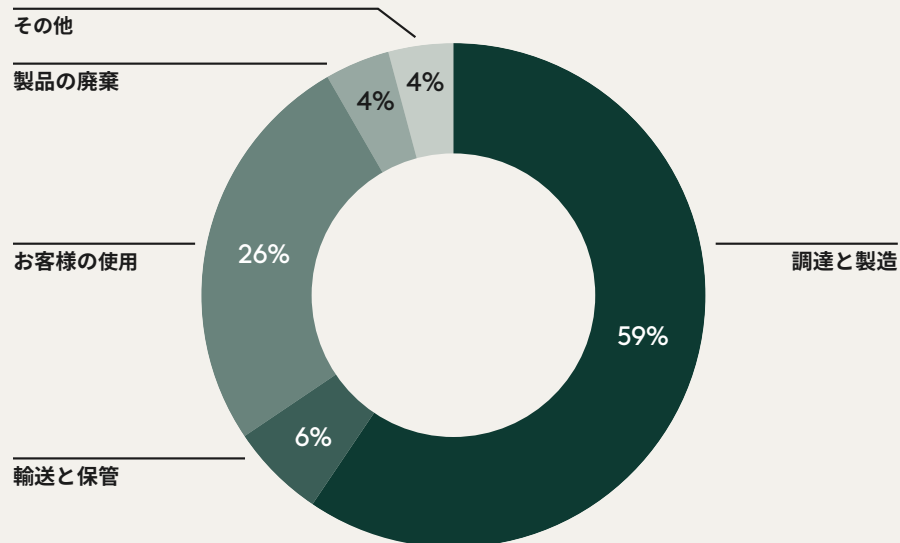
ロジクールの総カーボンフットプリント

スコープ1および2
<1%

スコープ3
>99%



ロジクールスコープ3排出量*



* ロジクールの事業活動（スコープ1および2の排出量）以外の温室効果ガス排出量

調達と製造

ロジクールにおけるサステナビリティへの取り組みは、製品の原材料調達と製造の段階から始まります。これらを合わせると、ロジクールにおけるカーボンフットプリント全体の59%を占めています。そのため、設計プロセスの初期段階で見過ごされてきたカーボンインパクトの削減に取り組み、サプライヤーと密接に協力してこれらの目標を達成することが非常に重要なのです。

再生プラスチックと低炭素アルミニウムという2つの素材は、当社の「サステナブルデザイン」という使命の一環として製造プロセスに取り入れた素材のほんの一例です。

再生プラスチックと低炭素アルミニウムに加え、ロジクールでは製造プロセスにおいて、可能な限り以下の素材も使用しています。

- 最適化されたプリント回路基板（PCBs）
- PVC不使用のケーブルおよびその他のPVC不使用の素材
- 再生ファブリック

2023年に大幅な二酸化炭素削減を実現

25,066 tCO₂e

Next Life Plastics

13,049 tCO₂e 2,647 tCO₂e

低炭素アルミニウム

PCBの最適化



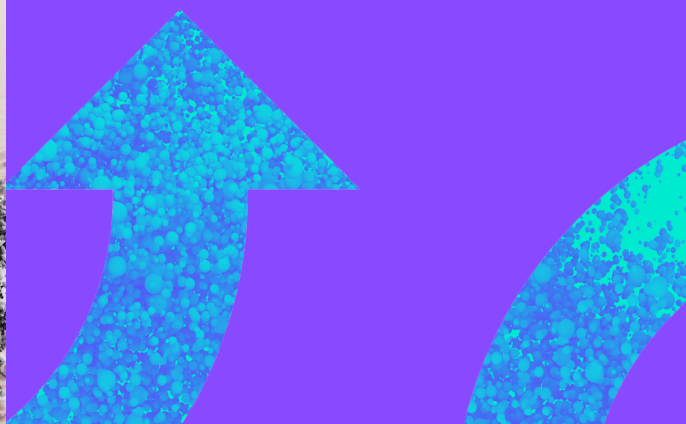
Next Life Plasticsを使用する理由

ロジクール製品の
の73%

寿命を迎えた古い家電製品のプラスチックを再生したNext Life Plasticsを使用して製造



25,000+ tCO₂e
Next Life Plasticsによる二酸化炭素削減²



豊富なデザイン、
豊富なカラー展開
妥協のない品質



ロジクールでは、寿命を迎えた古い家電製品のプラスチックを再生したポストコンシューマーリサイクル（PCR）プラスチック1をさまざまな製品で使用し、カーボンフットプリントの削減に貢献しています。

2017年からは、プラスチックサプライヤーと協力して、より強度を高めた、様々な色の新しい樹脂を開発しています。現在、30色以上の色を取り揃えており、品質を損なうことなく、お客様へより多くの色の選択肢の提供と再生プラスチックを使用した、より多くの製品の製造が実現できるようになりました。

「使い捨てプラスチックを使用したパッケージやハードウェアの新品のプラスチックから脱却することは、地球に対して責任ある選択であるだけでなく、より循環的な未来に向けた極めて重要な一歩となります。ロジクールは、率先してこの変革に取り組み環境フットプリントを削減し、私たちの業界におけるプラスチックの使用に関する新たな基準を設定することに尽力しています。」

– Prakash Arunkundrum、ロジクール最高執行責任者

低炭素アルミニウムを使用する理由

アルミニウムの製造には、大量の二酸化炭素の消費を必要とします。ほとんどの製錬所では従来の化石燃料を使用しており、大量の熱とエネルギーを必要とするからです。これによるカーボンインパクトを削減するために、低炭素アルミニウムは水力発電などの再生可能エネルギーを使用する製錬所で生産されています。2024年3月現在、ロジクールでは66の製品ラインで低炭素アルミニウムを使用しています³。2023年だけで13,000t以上

の二酸化炭素相当量が削減できたと推定されています⁴。

長期的な目標は、低炭素アルミニウム、ポストコンシューマーリサイクル（PCR）アルミニウムの使用を拡大させ、ニアゼロ⁵およびポストインダストリアルリサイクル（PIR）のアルミニウムの採用を模索することで、当社の製品ラインアップから従来の新品のアルミニウムを完全に排除することです。

66製品ライン

#ロジクール製品ラインアップにおける低炭素アルミニウム製製品の数⁴

13,000+ tCO₂e

2023年に低炭素アルミニウム製品によって削減されたCO₂量（トン）

低炭素アルミニウム製品の例

キーボード



パーソナル ワークスペース

Signature Slim MK 950/955
MX Keys Mini
MX Mechanical Mini
K835 TKLメカニカル
Ergo K860

ウェブカメラ



B2B

MX Brio 705 for Business

パーソナル ワークスペース

MX Brio

ヘッドセット



B2B

Zone Wireless 2

会議用カメラ



B2B

Rally Bar Huddle Sight



輸送と保管

ロジクールにおける二酸化炭素排出量の約6%は、製品の輸送と保管によるものです。当社では、この数字を導き出す際に、組み立てラインから配送センター、そして最終的にはお客様に届くまでのすべての輸送手段によるカーボンインパクトを測定し、当社製品の購入方法、集荷方法、配送方法についての洞察と知識を活用しています。また、保管施設で使用される暖房や空調などによる影響や、通常の業務に必要なIT機器や照明なども考慮しています。

製品が小さくて軽いほど、輸送と保管における炭素効率が高くなります。そのため、ロジクールでは製品の保護、パッケージの重量、出荷用パッケージ、そしてパレット輸送効率を最適化するために、パッケージの革新を続けています。また、航空便での輸送も可能な限り行わないようにしています。

FSC認証パッケージを使用する理由

森林管理協議会（Forest Stewardship Council、FSC）は、世界中の森林に対する責任ある管理を推進する国際的な非営利団体です。FSC™認証のサプライヤーから紙パッケージ資材を調達することは、責任ある森林管理を明確に支持し、林業や生物多様性への悪影響を確実に回避することにつながります。

2024年度に当社が導入した製品の半数以上がFSC™認証のパッケージを使用しており、ロジクール製品全体の19%が現在、FSC™認証パッケージを使用しています。⁶

FSC™認証のパッケージを採用したロジクール製品の例



Wave Keys for Business
キーボードとマウス



Lift for Business
エルゴノミックマウス



お客様による使用

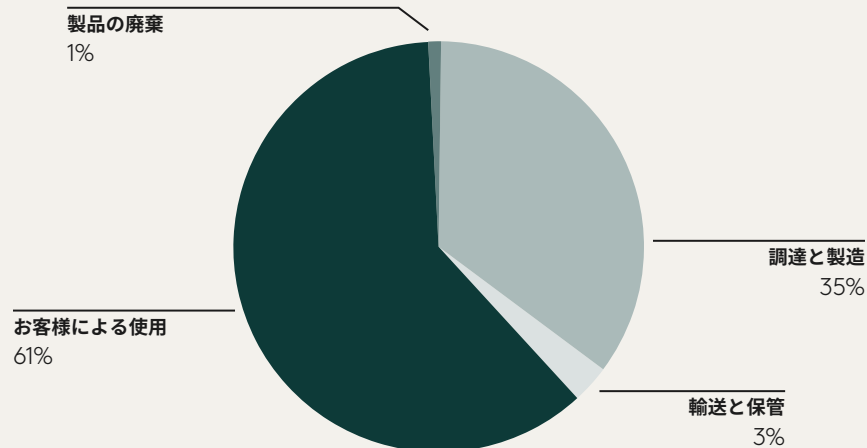
ロジクールにおけるカーボンフットプリントの59%が調達と製造によるものであることは前述したとおりです。ただし、この割合がすべての製品に等しく当てはまる訳ではないことに注意する必要があります。

マウスとビデオ会議用カメラを例にとって考えてみます。Rally Plusのようなビデオ会議用カメラには、MX Anywhereマウスよりはるかに多くのプラスチックやその他の素材が使用されています。おそらく、Rally Plusのカーボンフットプリントの35%が調達と製造によるものであるのに対し、MX Anywhereのカーボンインパクトの71%が調達と製造によるものであるという事実は驚くべきことかもしれません。⁸

その理由：お客様の使用段階におけるカーボンインパクトは、Rally Plusカメラの方がはるかに大きく、MX Anywhereマウスの13%に対して、Rally Plusは61%にもなるからです。これが、Rally Plusでは調達と製造がカーボンインパクトに占める割合がはるかに低い理由です。しかしこれは、Rally Plusなどの特定の製品によるカーボンインパクトを大幅に削減したいのであれば、調達、製造、輸送、保管の枠を超えて考える必要があることも示唆しています。

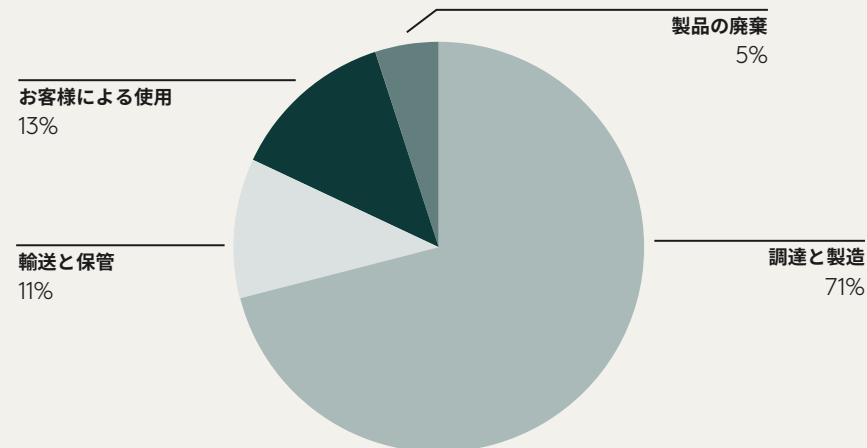
Rally Plus

製品ライフサイクル、総CO₂eの割合⁹



MX Anywhere 2S

製品ライフサイクル、総CO₂eの割合¹⁰

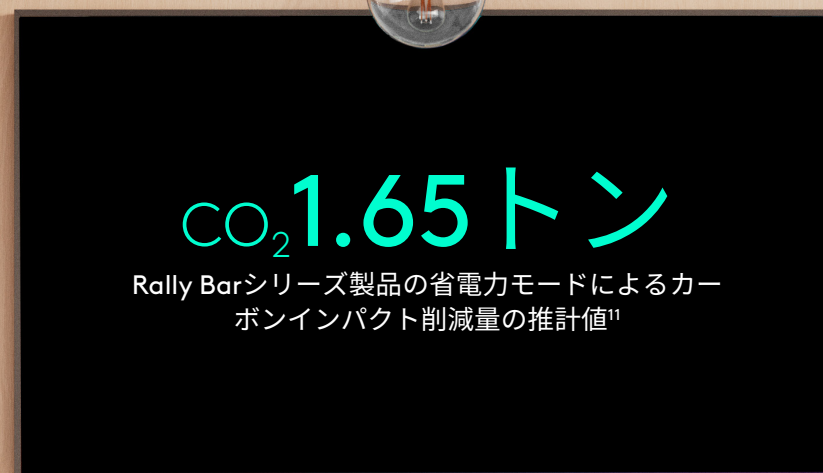


ビデオ会議用デバイスのカーボンインパクトを削減する方法のひとつとして、省電力モードと、会議室で何も行われていない場合にCEC対応のTVディスプレイの電源を切る機能を追加しています。たとえば、当社のビデオ会議ソリューションを支えるCollabOSソフトウェアは、会議室が空き状態になったことを検知して、機器の電源を自動的に切るように設計されています。



「PCRプラスチックや低炭素アルミニウムの使用など、原材料の調達時と製造時のカーボンフットプリントを削減することは重要です。しかし、特にRallyファミリーのようなビデオ会議用機器の場合、お客様が使用する際のカーボンフットプリントを削減する方法も検討しなければなりません。」

– Gregory Frank De Ferriere、
ロジクール、グループ製品マネージャー





当社製品にカーボンラベルを付ける理由

数字は何を意味するのでしょうか？炭素排出量に関して言えば、製造プロセス、市場への製品輸送、製品が寿命を迎えるまでの使用期間中に消費されるエネルギー、そして製品の廃棄に伴う処理方法によって、気候変動に影響を与える炭素がどの程度排出されるかが数値で示されます。ロジクール製品のカーボンフットプリントはCO₂e（二酸化炭素相当量）がキログラム単位で測定されます。これは、さまざまな温室効果ガスを共通の単位で表し、簡単に比較できるようにする指標です。

ロジクールは、カーボンインパクトについてオープンかつ透明性を保つことを重要視しています。実際、当社は2025年までにすべての製品のカーボンフットプリントをパッケージとウェブサイト上で公表することをお約束しました。現在の目標達成率は66%となっています。¹²



「当社は、炭素をカロリーに対する意識と同じように扱い、誰もが自分の消費しているものを認識する必要があると考えています。当社の製品がライフサイクル全体におけるカーボンインパクトに責任を持つということは、人々や企業のカーボンインパクトと気候変動による影響に対する意識の向上に役立つことでもあります。」

– Prakash Arunkundrum、ロジクール最高執行責任者

製品の廃棄

ロジクールでは、製品の耐用年数が終了したからといってそれで終わりではないという考えに取り組んでいます。廃棄物を減らし、製品、部品、材料の寿命を延ばす方法を常に模索しています。

廃棄物の削減

ロジクールでは以下の戦略に重点的に取り組んでいます。

- **製品のライフサイクル全体を考慮した設計を行い、分解、修理、リサイクルが容易にできるようにする**
- 生産サイクルに再投入できる**再生可能素材やリサイクル素材を使用する**
- 再整備できない**製品、部品、素材をリサイクルし、埋め立て処分を回避する**
- **製造プロセスを最適化して、廃棄物、エネルギー使用、排出量を最小限に抑える**

製品の長寿命化

ロジクールでは以下の戦略に重点的に取り組んでいます。

- 耐久性とエネルギー効率に優れた設計、修理サービス、二次市場での販売、製品寄付プログラム、リサイクルで、**製品の寿命を延ばす**
- ロジクール製品の返品に対して**下取りプログラムを提供し、「新品同様」の状態に再整備する**
- 当社のハードウェアと顧客体験の両方を向上させる**ソフトウェアとサービスを提供して、長期間にわたる使いやすさと価値を確保する**



ソフトウェア、サービス、交換可能な部品を活用して製品の寿命を延ばす方法

あまり知られていませんが、ロジクール製品によるカーボンインパクトの削減を行う方法のひとつとして、お客様が製品をより長く使用できるよう支援するという方法があります。ある意味、これは計画的陳腐化の反対です。

パーソナルワークスペースや会議室にある機器への投資からより大きな利益を得られるよう、環境への影響を低減しながら、ロジクールでは次のような取り組みを行っています。

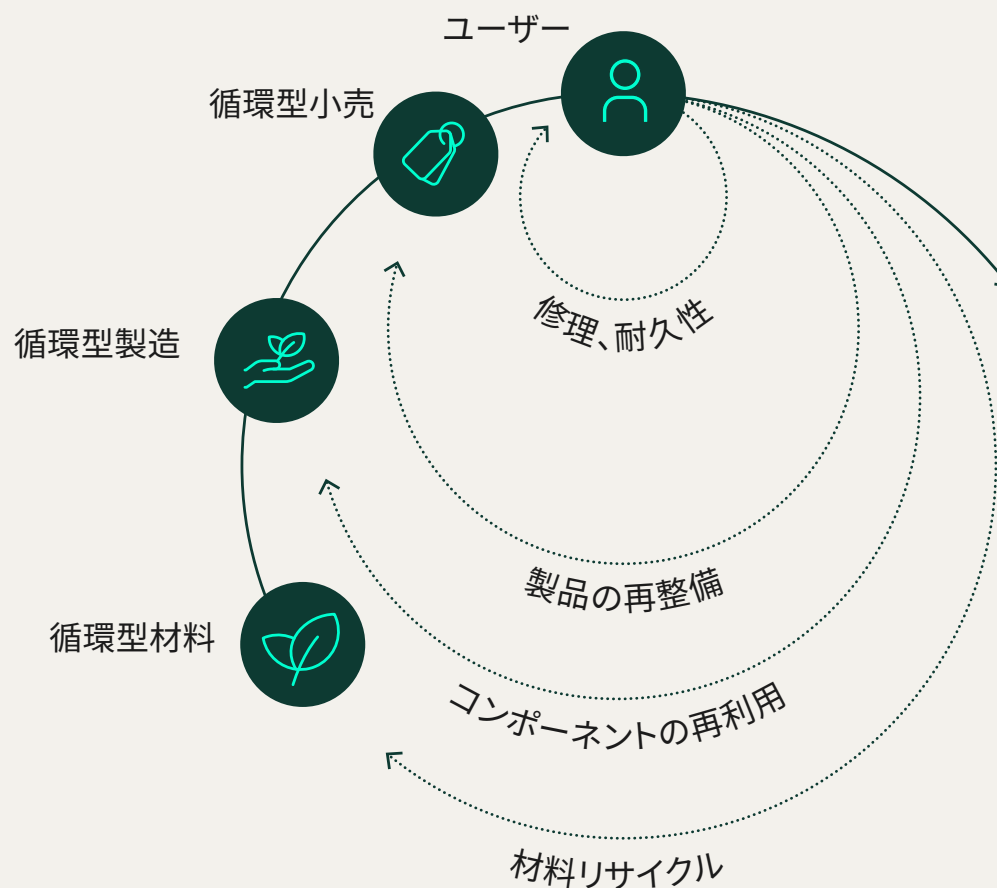
- **ソフトウェアの更新**：CollabOSプラットフォーム、Sync、Logi Tuneアプリを年に複数回更新することで、新しい機能を常に追加してパフォーマンスを向上させ、Microsoft Teams、Zoom Workplace、Google Meetなどのパートナー製品との連携を強化しています。これらのソフトウェア更新によって、既存の製品がお客様のニーズの変化に対応し続けることができます。
- **サービスプラン**：ロジクールのビジネスサービスプラン（SelectおよびEssentialを含む）は、高度なハードウェア交換、オンサイトスペア、延長保証などの特典を提供しています。これらのオプションは、お客様の投資をより長期的に保護することを目的として設計されています。
- **利用可能な部品**：ロジクール製品には可能な限り交換可能な部品を組み込んでいるため、修理が可能で、交換する必要がなくなります。交換可能な部品には、ヘッドセットのイヤークッション、リモコン、ビデオバーのカバーなどがあります。



ロジクールが考える循環性

ロジクールでは、ライフサイクル全体にわたるアプローチを採用して、設計、調達、製造から、リサイクルやその他の循環型ソリューションに至るまで、廃棄物の削減と製品の長寿命化を実現させる方法を検討しています。

当社が「ライフサイクル全体を考慮して製品を設計する」という場合は、設計プロセスの初期段階で再生可能素材やリサイクル素材の使用を優先しているだけでなく、耐用年数が過ぎた製品や部品を簡単に分解、修理、リサイクルできるようにすることで廃棄物を最小限に抑える方法も模索していることを意味します。





二酸化炭素削減

21%

カーボンフット
プリントの削減¹³

1,400 tCO₂e

10万台あたり
の削減量¹⁴

製品紹介

Sight

複数の参加者をインテリジェントにフレーミングするAI搭載の会議室用カメラ

サステナブルデザイン



最適化されたアーキテクチャ：

アルミニウム製のヒートシンクは、アルミニウムの使用量を減らし、製造時における廃棄物の発生を抑えるように改良されました。



クリーンで効率的な製造：

ロジクールでは、自社製造施設の電気消費量に見合うグリーン電力証書を購入しており、当社の主要サプライヤーにも同様の取り組みを推奨しています。



より良い素材：

プラスチック部分（ホワイト50%、グラファイト59%¹⁵）にはポストコンシューマーリサイクル（PCR）プラスチックを使用しており、寿命を迎えた古い家電製品のプラスチックを再利用して、カーボンフットプリントの削減に貢献しています。



化学物質コントロール：

PVC（ポリ塩化ビニル）不使用のケーブルと水性塗料を使用して、製造時の溶剤排出量を削減。



環境負荷の低いパッケージ：

FSCTM認証済みの森林などの適切に管理された供給源から調達した原材料を基にした紙製のパッケージ。



二酸化炭素削減

148 tCO₂e

10万台あたりの削減量¹⁶

製品紹介

MX Brio 705 for Business

AIによる画像補正機能付き
プレミアム4Kウェブカメラ

サステナブルデザイン



より良い素材

再生可能エネルギーから作られた低炭素アルミニウムと、再生プラスチックで作られたプラスチック部品を使用 — ブラックとグラファイトは82%、ペールグレーは75%。¹⁷ PVC不使用のケーブル。アルミニウム製ヒートシンクの65%はリサイクル材を使用。



環境負荷の低いパッケージ：

FSCTM認証済みの森林などの適切に管理された供給源から調達した原材料を基にした紙製のパッケージ。



クリーンで効率的な製造：

ロジクールでは、自社製造施設の電気消費量に見合うグリーン電力証書を購入しており、当社の主要サプライヤーにも同様の取り組みを推奨しています。



二酸化炭素削減

11.1 tCO₂e

10万台あたりの削減量¹⁸

製品紹介

Zone Wireless 2

双方向でノイズのない通話が可能なAI搭載のヘッドセット

サステナブルデザイン



より良い素材

プラスチック部分（グラファイト、オフホワイト、ローズ20%）はポストコンシューマーリサイクル（PCR）プラスチックを使用。¹⁹PVC不使用のケーブル：再生可能エネルギーで製造された低炭素アルミニウム。



長く使える製品：

交換可能なバッテリーとイヤークッションで、より長くお使いいただけます。



クリーンで効率的な製造：

ロジクールでは、自社製造施設の電気消費量に見合うグリーン電力証書を購入しており、当社の主要サプライヤーにも同様の取り組みを推奨しています。



環境負荷の低いパッケージ：

FSCTM認証済みの森林などの適切に管理された供給源から調達した原材料を基にした紙製のパッケージ。



二酸化炭素削減

37%

カーボンフットプリントの削減²⁰

310 tCO₂e

10万台あたりの削減量²⁰

製品紹介

Wave Keys for Business

クッション付きパームレストを備えたワイヤレスエルゴノミックタイプのキーボードで、一日中快適なタイピングが可能

サステナブルデザイン



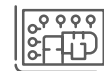
より良い素材

プラスチック部分（グラファイト61%、オフホワイト46%）はポストコンシューマリサイクル（PCR）プラスチックを使用。²¹



環境負荷の低いコンポーネント：

PCBレイアウトの設計を変更して全体のサイズを50%縮小することで、製造廃棄物排出の可能性とカーボンインパクトを削減。



最適化されたアーキテクチャ：

コンパクトなデザインで約320gの軽量化を実現²⁰。



環境負荷の低いパッケージ：

FSCTM認証済みの森林などの適切に管理された供給源から調達した原材料を基にした紙製のパッケージ。



クリーンで効率的な製造：

ロジクールでは、自社製造施設の電気消費量に見合うグリーン電力証書を購入しており、当社の主要サプライヤーにも同様の取り組みを推奨しています。



ロジクールでは、自社の活動が地球と人々にもたらす影響を深く認識しており、従業員には、日々の業務や意思決定プロセスでサステナビリティを考慮することを奨励しています。ロジクールにおけるサステナビリティへの取り組みは、当社の価値観を反映させたものです。

コラボレーションテクノロジーへの投資を検討される際は、ロジクールにおけるサステナビリティへの取り組みと行動をご確認ください。

- 詳細はこちらからご覧ください：
logicool.co.jp/sustainability
- 当社の「2024年インパクトレポート」はこちらからご覧ください：
impactreport.logitech.com
- ご質問やご意見は、までお問い合わせください。
sustainability@logitech.com

- ¹ 当社の設計目標は、当社製品に含まれる再生プラスチックの割合を最大限に高めることです。達成した割合を算出する際には、定義された手順に従い、第三者機関によって検証済みのアプローチを使用しています。 <https://www.logitech.com/sustainability/post-consumer-recycled-plastic.html>
- ² 2023年1月1日から2023年12月31日に出荷された製品で達成された二酸化炭素削減量として測定。新品のプラスチックを使用した製品との比較。
- ³ 2024年3月1日から2024年3月31日までの期間に出荷された、低炭素アルミニウムを使用した製品ラインの数として集計。炭素削減量は、2023年1月1日から2023年12月31日までの期間に出荷されたユニットにおける低炭素アルミニウムの使用による炭素削減量として測定。
- ⁴ 2023年1月1日から2023年12月31日までの期間に出荷されたユニットに関連する炭素削減量。
- ⁵ アルミニウムで、フットプリントが3 tCO₂/t未満のもの。First Movers Coalitionの調査によると、この基準でニアゼロの一次アルミニウムを生産するには、アルミニウム生産プロセスにおける多くの画期的なテクノロジーのうち、少なくとも1つを導入する必要があるとされています。
- ⁶ 2024年3月1日から2024年3月31日までの期間に出荷されたユニットで、FSC™認証を受けた一般向けの紙製パッケージを採用している製品の割合。新製品の発表とは、会計年度報告期間内に発売されるロジクールの製品ラインです。
- ⁷ 2024年3月1日から2024年3月31日までの期間に出荷されたユニットで、FSC™認証を受けた一般向けの紙製パッケージを採用している製品の割合。
- ⁸ See <https://www.logitech.com/sustainability/carbon-clarity.html>
- ⁹ <https://www.logitech.com/content/dam/logitech/en/sustainability/carbon-labeling-messaging/carbon-clarity/pdf/carbon-footprint-rally-plus.pdf>を参照
- ¹⁰ <https://www.logitech.com/content/dam/logitech/en/sustainability/carbon-labeling-messaging/carbon-clarity/pdf/carbon-footprint-mx-anywhere-2s-wireless-mouse.pdf>を参照
- ¹¹ EnergyStar認定の50〜69インチ、省エネルギーモードの低消費電力テレビを基準として使用。ロジクールのカーボン透明性プログラムによる世界的な電力消費排出係数に基づいた数値。最適化前の使用段階におけるカーボンインパクトは、2年間で製品を100台使用した場合、95.4t CO₂eと社内では推計。ロジクールビデオ会議用機器の社内ユーザーモデル（ビデオ会議室の使用状況記録データに基づく）。
- ¹² 2024年3月1日から2024年3月31日までの期間に出荷されたユニットにおいて、第三者機関による評価を受けたロジクール製品のカーボンフットプリントの割合として測定。
- ¹³ 「サステナビリティを考慮していない設計の製品」と量産前の試作品を比較した推計値。
- ¹⁴ 「サステナビリティを考慮していない設計の製品」との比較。
- ¹⁵ レシーバー、バッテリー、プリント配線基板（PWA）、およびFFCケーブルのプラスチックを除く。
- ¹⁶ 「サステナビリティを考慮していない設計の製品」と量産前の試作品を比較した推計値。
- ¹⁷ プリント配線基板（PWA）、ケーブル、およびパッケージを除く。
- ¹⁸ 「サステナビリティを考慮していない設計の製品」と量産前の試作品（ブラック）を比較した推計値。
- ¹⁹ プリント配線基板（PWA）、ケーブル、およびパッケージを除く。
- ²⁰ ロジクールK350ウェブキーボード（第1世代）と量産前の試作品を比較した推計値。
- ²¹ プリント配線基板（PWA）、ケーブル、およびパッケージを除く。

